

白鷹町では森林の多面的機能発揮に向け多くの森林関係施設の維持管理が課題である。
このため、施設の管理を適切に行う事により事業者が森林の活用ができる環境を整えるため施設の維持管理に主眼を置き事業を実施した。

□ 事業内容

1 林道整備事業

- 町内一円の既存の林道整備を行った。
【事業費】5,555千円（うち譲与税5,520千円）
【実績】人工林間伐 約10.02ha 人工林主伐 約34.61ha 林道整備延長 84.5*

2 森林総合利用施設等管理事業

- 森林総合利用施設（白鷹町ふるさと森林公園）の管理及び整備を行った。
【事業費】5,157千円（うち譲与税5,150千円）【実績】来場者 約68,700人

4 町産材記念品PR事業

- 町産材のPRに向け町産材のPRに向け町で配布される祝賀用額縁を進呈
【事業費】2,072千円（うち譲与税1,957千円）【実績】搬出数量14,287m³

5 森林GISクラウドシステム使用料

- 【事業費】198千円（うち譲与税190千円）【実績】対象筆数 31,130筆

6 みどりの少年団等育成事業

- みどりの少年団の活動支援補助
【事業費】30千円（うち譲与税30千円）
【実績】みどりの少年団：48人

□ 取組の背景

- 森林の総合的な利用や多面的機能の発揮に向け、基盤となる林道や施設の整備に主眼をおいて事業を実施。
その他、林業事業者の育成や木育など木材に関わる総合的な対策により木を活かした町づくりを目的とした視点から事業を行っている。

□ 工夫・留意した点

- 施設の整備などについては、森林の多面的機能の発揮のため、利用者が利用しやすいよう早期の整備の実施。
・学校や地域と連携した事業実施を行った。

□ 取組の効果

- 継続して多様な事業を実施することにより、地域住民の理解が深められた。
・施設整備などについては利用者との連携が深められた。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：18,547千円	②私有林人工林面積（※1）：3,271ha	
③林野率（※1）：63.8%	④人口（※2）：12,890人	⑤林業就業者数（※2）：13人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（林道整備）



（森林総合利用施設）



（みどりの少年団）